## がたり③

## 生きもの

場には、 よって息絶えてしまいます。 しかし、ほとんどのウズバキトンボは北国の秋風に ていますが、春になると九州や四国に北上してきま でしか冬を越せません。日本では主に沖縄で生息し ウズバキトンボはとても寒さに弱く、暖かい地域 さらに年々、北限は拡大し、近畿、関東を越えて、 北海道までその範囲を広げています。今や夏 全国で普通に見られるトンボになりました。

ない〟

「反対に沖縄が住みにくい環境になること」 るからと言われます。、これから地球温暖化が進む につれて、 に……。その理由は、 う。住み慣れた暖かい土地で安全に生きればいいの なぜ、そんなリスクを背負って北上するのでしょ 日本中で生息できるようになるかもしれ 生息圏の拡大を追い求めてい



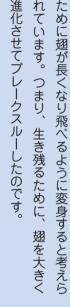




(http://www.prokoushi.com/)

栄のために命がけで挑戦しているのでしょう。 変わるかもしれない〟そんな未来を見据え、子孫繁 だってありえるベ生態が寒さに対応できるように

生活環境の大幅な変化に対して、生活圏を変えるへ 年も世界中で起こっている現象があり、これを「飛歴史的にもバッタの大群が大移動した話は多く、近 食糧が減り、生活範囲が狭くなって、個体密度が高 蝗」といいます。飛蝗が起こる原因は、旱魃などでい 距離飛行するだけの翅を持っていません。しかし、 まることで生態自体が変わることにあるそうです。 一方で、バッタはジャンプ力が優れているが、長



きなリスクを抱えることになりかねないのです。 なくなることだってあるかもしれません。つまり、 なんらかの規制によってビジネスモデルが成り立た 値下げによって価格破壊が起こることもあります。 大手企業が参入してくることもあれば、同業他社の たな市場の可能性を探らなくては、将来にもっと大 ウズバキトンボのようにリスクを取りながらでも新 つその市場が大幅に縮小するか予想ができません。 も常に変わると考えなくてはいけません。企業経営 においては、現状のビジネスが好調であっても、 現在は変化の時代で、 私たちをとりまく経営環境

です。つまり、会社を揺るがすほどの危機に対しては、 うに、企業も生態ごと変えるくらいの気持ちが必要 は、バッタが危機に対して翅を大きく進化させたよ さらに言えば、自らの能力を超える事態において



現状を肯定してよりよくする「改善」ではなく、現 ないことを知っているのです。 旱魃の土地で違う食糧を探す努力をしても生き残れ は手遅れになってしまいます。バッタは飛蝗せずに 状を否定して根本を変える「改革」を断行しなくて

蝗」するのです。 です。現状を打破するために、長く翅を伸ばし「飛 う。また、苦しい時にこそ新しい強みが生まれるの の変化を見据えて、新しい市場を開拓し続けましょ せん。ウズバキトンボのように未来のビジネス環境 成果が出ないことにも挑戦していかなくてはいけま で書きましたが、並行して長期的な視点で、すぐに ビジネスでは選択と集中が大切であることは前号

また、危機に伸ばす「翅」はどの事業でしょうか? 御社も未来を見据えて「北上」を試みませんか?

